

(参考) 森の活動の服装

夏でも「長そで」「長ズボン」が原則

森の中には「とげ」があったり、触ると「かぶれ」たりする植物があります。また、虫に刺されることもあるので、なるべく素肌は露出しないように「長そで」「長ズボン」には、強い紫外線から肌を守る意味もあります。

半そでTシャツの場合はアームガードなどを着用するようにしましょう。



NG

黒い帽子や黒い服はNG

蜂（スズメバチやアシナガバチ）は黒い色に向かって攻撃してくる黒い色の帽子や服は森の中ではNGです。なるべく明るい色の帽子や服を選びましょう。日本人の髪は黒いので攻撃目標になります。明るい色の帽子を被りましょう。

熊はスズメバチの幼虫のハチノコを好んで食べるため黒い色のものが近づくと思っ攻撃するという説があります。



つば付きの帽子を被ろう

木を植える場所には大きな木が立っていないので日影がありません。直射日光を避けるため明るい色のつば付きの帽子を被りましょう。首を露出させないのと汗止め用にタオルマフラーを首に巻くのもいいよ。



サンダル、ゴム草履はNG

カヤの平は、高原地帯なので急こう配の斜面はありませんが、緩やかな起伏が続いています。

履きなれたトレッキングシューズなど滑りにくい底の動きやすい靴を履きましょう。（運動靴で大丈夫です）

作業用長ぐつも、靴の中にゴミが入ったり、ズボンの裾口から虫が入ったりしないのでお勧めです。

